

地方自治法第243条の3第1項及び昭島市財政状況の公表に関する条例に基づき、昭島市における平成18年度上半期の財政状況及び平成17年度決算の状況を公表します。

平成18年11月30日

昭島市長 北川 穰 一

平成18年度上半期における財政状況

1 まえがき

市の財政状況について、市民の皆様幅広く知っていただくため、毎年2回そのあらましについて公表しています。今回は、平成18年度上半期（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）における歳入・歳出予算の執行状況、市税負担と市民サービス支出の状況及び市有財産や市債の状況などの概要をお知らせします。

2 一般会計

一般会計は、市税のほか国・都支出金や市債などの財源により、福祉、教育、環境や道路・公園等の公共施設の整備など、水道事業会計や特別会計を除き、市政全般の事業分野を經理する会計です。平成18年度一般会計は、上半期には2回にわたる予算の補正（補正合計額2億4,102万2千円の追加）を行い、前年度からの繰越額385万5千円を含めた予算現額は、353億687万7千円となっています。上半期の補正予算の主な内容は、「表2」のとおりです。

（1）歳入

歳入の状況は、「表1」に示すとおりです。収入済額は156億9,098万8千円で、予算現額に対する収入率は44.4%となっています。これを前年同期と比較すると3億7,573万6千円（2.5%）の増となっています。

市税の収入済額は、101億4,745万6千円で、収入率は56.2%となっています。この市税は、個人市民税や法人市民税の増により、前年同期と比較して4億1,569万8千円の増収となっています。このほか、国・都支出金24億3,236万6千円、地方消費税交付金7億3,708万円などが収入済となっています。国・都支出金については、扶助費や建設事業費などに係る国庫負担金や補助金の多くが年度の後半に収入されるために、収入率は低くなっています。また、市債についても年度の後半に収入が予定されているため、収入率が0.0%となっています。

（2）歳出

歳出の状況は、同じく「表1」に示すとおりです。支出済額は138億5,499万7千円で、予算現額に対する執行率は39.2%となっています。これを前年同期と比較すると2億9,003万2千円（2.1%）の減となっています。

歳出予算の39.4%を占める民生費の支出済額は62億8,991万8千円で、

執行率は45.3%となっています。このほか、土木費9億5,691万3千円、教育費20億1,577万1千円などが支出済となっています。

この上半期に支出される経費は、法令の規定等により支出が義務づけられている経常経費が多く、道路整備や学校施設の改修などの建設事業費の支出については、工期が長期間に及ぶものが多いため、下半期に集中します。

3 市民の市税負担と市民サービス支出の状況

この状況は、「表3」のとおりです。市税は歳入総額の5割以上を占める基幹的収入となっています。市税の収入済額は、101億4,745万6千円で、市民一人当たりの負担額にすると、9万292円になります。

一方、市民サービスの維持向上のために支出された費用は、一人当たり12万3,282円になっています。このうち、福祉関係は5万5,968円、教育関係は1万7,936円などとなっています。これらの費用は、市税のほか国・都支出金などで賄われています。

4 市有財産の状況

市では行政を進めるために、市庁舎、道路、公園、学校などの土地や建物を保有しています。また、貸付金や出資金、基金があります。その状況は、「表4」のとおりです。

5 市債の状況

道路や公園、学校施設などが整備されると、これらの公共施設は将来にわたり活用されますが、これらの整備には多額の費用がかかることから、単年度の市税や国・都の支出金などで全額を賄うと現在の市民の負担が大きくなり過ぎます。そこで、費用の一部を後年度の市民にも負担していただくために、国や都、金融機関などから長期にわたり借り入れていきます。その借り入れたお金が市債です。

「表5」に示すとおり、一般会計では227億4,128万6千円、下水道事業特別会計では104億1,851万9千円の市債残高があります。市民一人当たりに換算すると、29万5,055円の借金があることとなります。

6 特別会計

市が特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため一般会計から分離して、別に収支を管理する会計で、現在5つの特別会計を設けています。

(1) 国民健康保険特別会計

国民健康保険に加入している市民の保険を経理する会計で、歳入歳出の執行状況は「表6」に示すとおりです。収入済額は37億5,368万5千円で、予算現額に対する収入率は38.0%となっています。このうち、被保険者からの保険税は10億8,049万6千円で、収入率は36.4%となっています。

一方、支出済額は40億7,990万9千円で、予算現額に対する執行率は41.3%となっています。この支出の大部分が保険給付費及び老人保健拠出金で35億5,408万4千円となっており、支出済額の87.1%を占めています。

(2) 老人保健医療特別会計

高齢者の保健医療を経理する会計で、歳入歳出の執行状況は「表7」に示すとおりです。収入済額は27億5,912万6千円で、予算現額に対する収入率は40.0%となっています。

一方、医療費などの支出済額は27億8,072万5千円で、予算現額に対する執行率は40.3%となっています。

(3) 介護保険特別会計

主に高齢者の介護を必要とする人のための介護保険を経理する会計で、歳入歳出の執行状況は「表8」に示すとおりです。収入済額は22億286万円で、予算現額に対する収入率は44.4%となっています。このうち、保険料は3億3,027万3千円で、収入率は34.8%となっています。

一方、支出済額は19億7,736万1千円で、予算現額に対する執行率は39.9%となっています。この支出の大部分が保険給付費で18億4,154万円となっており、支出済額の93.1%を占めています。

(4) 下水道事業特別会計

公共下水道の整備と円滑な運営を図り、その経理を明確にするために設けられた会計で、歳入歳出の執行状況は「表9」に示すとおりです。収入済額は9億9,968万3千円で、予算現額に対する収入率は27.7%となっています。主な収入は、下水道使用料と一般会計からの繰入金となっています。

一方、支出済額は14億9,922万2千円で、予算現額に対する執行率は41.5%となっています。この支出の大部分が下水道施設の維持管理費、管渠建設費などの事業費と市債の元利償還金である公債費で13億9,950万円となっており、支出済額の93.3%を占めています。

(5) 中神土地区画整理事業特別会計

中神駅北側区域の区画整理事業を実施するために設けられた会計で、歳入歳出の執行状況は「表10」に示すとおりです。収入済額は2億4,888万8千円で、予算現額に対する収入率は25.9%となっています。主な収入は、繰越金と一般会計からの繰入金となっています。

一方、支出済額は2億1,700万3千円で、予算現額に対する執行率は22.6%となっています。この支出の大部分が建物移転補償や道路築造工事を行う事業費で1億5,584万5千円となっており、支出済額の71.8%を占めています。

平成17年度決算における状況

1 一般会計決算の概要

一般会計決算の状況は、「表11」に示すとおりです。歳入総額は332億1,532万5千円で、歳出総額は326億5,133万1千円となりました。

決算収支は、形式収支で5億6,399万4千円の黒字となり、平成18年度へ繰り越すべき財源385万5千円（都市計画道路3・4・1号整備事業の繰越明許費）を差し引いた実質収支も5億6,013万9千円の黒字となりました。

2 一般会計決算の特徴

(1) 決算は前年度と比較して歳入、歳出ともに8.4%の減

歳入では、基幹収入である市税の回復、地方譲与税や株式等譲渡所得割交付金などが増となる一方、歳出では児童手当や生活保護費などの扶助費や事務事業の委託化、武蔵野会館のオープンなどに伴う物件費などが増となりました。しかし、前年度に計上されていた減税補てん債の借換債がなくなったことから、全体では歳入、歳出ともに大幅な減となりました。

(2) 市税収入は、配偶者特別控除の廃止に伴う個人市民税や償却資産にかかる固定資産税の増により増加

市税は、前年度に比べ3億1,058万5千円の増加となりました。

(3) 普通交付税は2年連続して不交付

地方交付税のうち普通交付税は前年度に続き不交付となり、特別交付税は1億1,601万2千円で、前年度に比べ2,712万6千円の減となりました。

(4) 臨時財政対策債の借入は圧縮

臨時財政対策債(市の借金)は前年度に比べ3億70万円減額し、11億4,930万円となりました。

3 平成17年度に行った主な事業

(1) 明るい地域社会の形成

- ・市民交流センター改修工事 509万3千円
- ・防火貯水槽設置工事(2基) 2,443万5千円
- ・災害時要支援者のための備蓄物資の充実 304万2千円

(2) 健康と福祉の充実

- ・私立保育園運営事業 28億5,338万4千円
- ・児童手当等支給事業 12億6,506万1千円
- ・乳幼児医療費助成 2億1,458万5千円
- ・基本健康診査(ミニドック) 1億9,234万円
- ・生活保護法に基づく扶助費 28億9,690万円

(3) 生涯学習の充実

- ・中学校生徒用コンピュータ機器購入 3,853万5千円
- ・拝島第三小大規模改造(耐震補強)工事(診断・設計・評定) 787万5千円
- ・中神小大規模改造(耐震補強)工事 1億225万3千円
- ・武蔵野会館新築工事 2億2,809万4千円
- ・スポーツ振興計画の策定(継続費2か年1年次分) 184万3千円

(4) 循環型社会の形成

- ・キッズISOプログラムの実施 51万8千円
- ・せん定枝リサイクル事業 161万1千円
- ・緑ヶ丘公園整備工事 5,145万円

(5) 質の高い都市基盤整備

- ・市道舗装改修等工事 3億1,067万3千円
- ・多摩川左岸遊歩道桜植栽工事 837万3千円

・都市計画道路整備事業（用地取得）	1億9,877万3千円
・拝島駅自由通路整備工事	1億6,731万5千円
・昭島駅昇降機等設置費補助	6,167万4千円
(6) 産業の活性化	
・中小企業事業資金融資利子等補助	2,603万2千円
・地域産業振興ビジョンの策定（調査研究）	600万円
(7) 計画実現のために	
・市民意識調査	203万7千円
・地域情報化事業（ホームページなど）	3,431万5千円

4 財政指標

財政状況を示す財政指標は、「表12」のとおりです。

平成17年度の経常収支比率は92.3%で、前年度の93.5%に比べ1.2ポイント改善されました。なお、都内26市の平均89.1%をまだ3.2%上回っている状況です。

5 特別会計決算の状況

特別会計については、「表13・14・15・16・17」に示すとおりです。

むすび

以上が平成18年度上半期の財政状況及び平成17年度決算の状況です。

市の財政は、景気が回復傾向にあるなかで、市民税や固定資産税などの増収が見込まれるものの、「三位一体改革」の影響による地方交付税の削減、国・都補助金の廃止などもあり、引き続き厳しい歳入状況にあります。また、少子高齢化社会への対応、道路や公園などの都市基盤の整備、商工業の振興など、行財政需要は益々高まっています。このため、財源不足の補てんに臨時財政対策債の借り入れと、財政調整基金の取り崩しなどを余儀なくされています。

市では、行政経費を節減し効率的な行財政運営を行うために、事務事業を見直し、職員数の適正化や受益と負担の適正化等を進めています。

今後も、行財政健全化の取り組みを進め、市民サービスの維持向上に努力してまいります。

平成 1 7 年度 決 算 状 況

表11 一般会計歳入・歳出決算総括表

【歳入】

(単位:千円)

予算科目	予算現額	収入済額		収入率	予算現額と収入 済額との比較
		金額	構成比		
1 市 税	17,705,935	17,834,958	53.7%	100.7%	129,023
2 地方譲与税	601,580	601,582	1.8%	100.0%	2
3 利子割交付金	112,775	112,775	0.3%	100.0%	0
4 配当割交付金	53,204	53,204	0.2%	100.0%	0
5 株式等譲渡所得割 交付金	77,602	77,602	0.2%	100.0%	0
6 地方消費税交付金	1,213,721	1,213,721	3.7%	100.0%	0
7 ゴルフ場利用税 交付金	33,619	33,619	0.1%	100.0%	0
8 自動車取得税 交付金	254,149	254,149	0.8%	100.0%	0
9 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	19,317	19,317	0.0%	100.0%	0
10 地方特例交付金	611,716	611,716	1.8%	100.0%	0
11 地方交付税	116,012	116,012	0.3%	100.0%	0
12 交通安全対策特別 交付金	20,118	20,118	0.0%	100.0%	0
13 分担金及び負担金	421,685	452,876	1.3%	107.4%	31,191
14 使用料及び手数料	1,022,930	1,025,314	3.1%	100.2%	2,384
15 国庫支出金	4,437,209	4,371,150	13.2%	98.5%	66,059
16 都支出金	3,684,542	3,619,610	10.9%	98.2%	64,932
17 財産収入	126,043	124,428	0.4%	98.7%	1,615
18 寄附金	696	695	0.0%	99.9%	1
19 繰入金	27,439	27,439	0.1%	100.0%	0
20 繰越金	627,437	627,438	1.9%	100.0%	1
21 諸収入	252,710	263,002	0.8%	104.1%	10,292
22 市債	1,754,600	1,754,600	5.3%	100.0%	0
歳入合計	33,175,039	33,215,325	100.0%	100.1%	40,286

【歳出】

(単位:千円)

予算科目	予算現額	支出済額		執行率	翌年度 繰越額	不用額
		金額	構成比			
1 議会費	343,667	339,867	1.0%	98.9%		3,800
2 総務費	4,368,993	4,305,207	13.2%	98.5%		63,786
3 民生費	13,407,950	13,235,487	40.6%	98.7%		172,463
4 衛生費	2,963,118	2,893,251	8.9%	97.6%		69,867
5 労働費	104,780	102,985	0.3%	98.3%		1,795
6 農林費	51,734	51,018	0.2%	98.6%		716
7 商工費	166,401	163,663	0.5%	98.4%		2,738
8 土木費	3,164,529	3,083,736	9.4%	97.4%	3,855	76,938
9 消防費	1,410,025	1,404,884	4.3%	99.6%		5,141
10 教育費	4,768,898	4,666,774	14.3%	97.9%		102,124
11 災害復旧費	1	0	0.0%	0.0%		1
12 公債費	2,406,888	2,404,321	7.4%	99.9%		2,567
13 諸支出金	200	138	0.0%	69.0%		62
14 予備費	17,855	0	0.0%	0.0%		17,855
歳出合計	33,175,039	32,651,331	100.0%	98.4%	3,855	519,853

市民の市税負担と市民サービス支出の状況

(一般会計 収入・支出済額より)

区 分	1人当たり	1世帯当たり
市 税 負 担 額	159,208円	365,141円
市民サービス支出額	291,470円	668,482円

平成18年3月31日現在の人口と世帯数を用いて求めています。(112,023人・48,844世帯)

(1)市民の税負担額の状況

市 税 の 科 目	収入済額 (千円)	構成比	1人当たり の負担額 (円)	1世帯当たり の負担額 (円)
市 民 税	7,000,340	39.3%	62,490	143,320
固 定 資 産 税	8,438,288	47.3%	75,326	172,760
軽 自 動 車 税	68,295	0.4%	610	1,398
市 た ば こ 税	824,750	4.6%	7,362	16,886
特 別 土 地 保 有 税	0	0.0%	0	0
都 市 計 画 税	1,503,285	8.4%	13,420	30,777
合 計	17,834,958	100.0%	159,208	365,141

(2)市民への行政サービス支出額の状況

予 算 科 目	支出済額 (千円)	構成比	1人当たり のサービス支出額 (円)	1世帯当たり のサービス支出額 (円)
総 務 費	4,305,207	13.2%	38,431	88,142
民 生 費	13,235,487	40.5%	118,150	270,975
衛 生 費	2,893,251	8.9%	25,827	59,235
土 木 費	3,083,736	9.4%	27,528	63,134
消 防 費	1,404,884	4.3%	12,541	28,763
教 育 費	4,666,774	14.3%	41,659	95,544
公 債 費	2,404,321	7.4%	21,463	49,224
そ の 他	657,671	2.0%	5,871	13,465
合 計	32,651,331	100.0%	291,470	668,482

表 1 2 財政指標

財政指標	昭島市	26市平均	備 考
経常収支比率	92.3%	89.1%	経常的な一般財源を経常的経費に充てた割合。(一般的に70%~80%が適正水準といわれています。)
公債費比率	8.8%	9.3%	標準財政規模に対する公債費(市債の返済額)の割合。
財政力指数	1.026	1.059	普通交付税算定上の基準財政需要額に対する基準財政収入額の割合。この割合が、1を超えると財政に余裕があるとされ普通交付税が交付されません。昭島市においては、平成16年度に引続き平成17年度も不交付団体となり、ほか14市が不交付団体となっています。

財政力指数・経常収支比率・公債費比率の過去5年間の推移

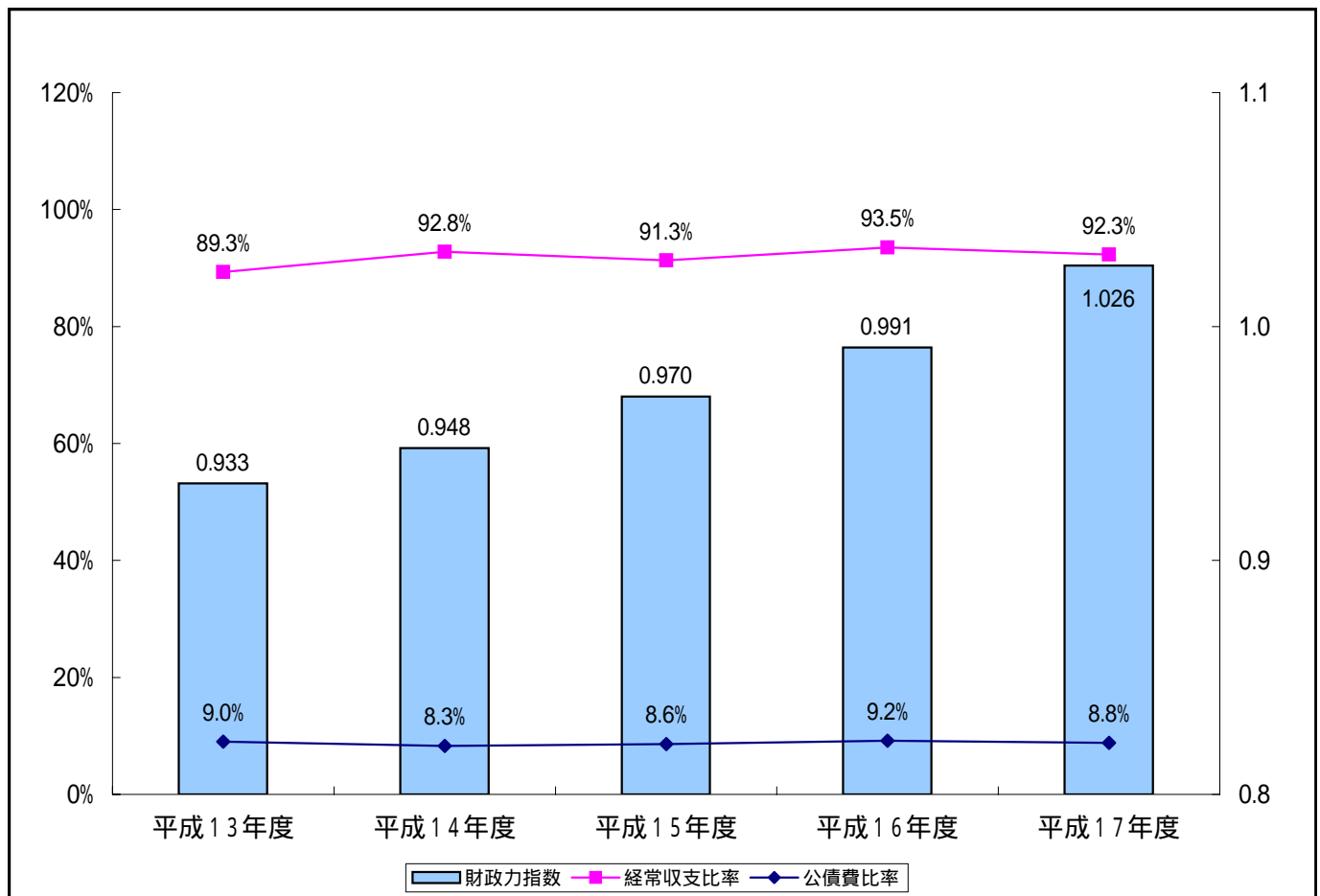


表13 国民健康保険特別会計歳入・歳出決算総括表

〔歳入〕 (単位:千円)

予算科目	予算現額	収入済額		収入率	予算現額と収入済額との比較
		金額	構成比		
1 国民健康保険税	2,782,050	2,464,129	26.9%	88.6%	317,921
2 一部負担金	1	0	0.0%	0.0%	1
3 国庫支出金	2,505,815	2,509,910	27.5%	100.2%	4,095
4 療養給付費交付金	2,270,362	2,217,361	24.3%	97.7%	53,001
5 都支出金	350,549	349,262	3.8%	99.6%	1,287
6 連合会支出金	2,200	2,200	0.0%	100.0%	0
7 共同事業交付金	190,466	180,233	2.0%	94.6%	10,233
8 財産収入	1	0	0.0%	0.0%	1
9 繰入金	1,400,001	1,400,000	15.3%	100.0%	1
10 繰越金	1	0	0.0%	0.0%	1
11 諸収入	21,877	19,488	0.2%	89.1%	2,389
歳入合計	9,523,323	9,142,583	100.0%	96.0%	380,740

〔歳出〕 (単位:千円)

予算科目	予算現額	支出済額		執行率	翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比			
1 総務費	159,407	155,948	1.7%	97.8%		3,459
2 保険給付費	6,420,396	6,172,433	66.7%	96.1%		247,963
3 介護保険納付金	614,898	614,895	6.6%	99.9%		3
4 老人保健拠出金	1,831,725	1,831,721	19.8%	99.9%		4
5 共同事業拠出金	183,436	175,889	1.9%	95.9%		7,547
6 保健事業費	5,673	4,874	0.0%	85.9%		799
7 基金積立金	1	0	0.0%	0.0%		1
8 公債費	132	0	0.0%	0.0%		132
9 諸支出金	145,911	145,458	1.6%	99.7%		453
10 予備費	2,570	0	0.0%	0.0%		2,570
11 前年度繰上充用金	159,174	159,173	1.7%	99.9%		1
歳出合計	9,523,323	9,260,391	100.0%	97.2%	0	262,932

表14 老人保健医療特別会計歳入・歳出決算総括表

〔歳入〕 (単位:千円)

予算科目	予算現額	収入済額		収入率	予算現額と収入済額との比較
		金額	構成比		
1 支払基金交付金	4,085,842	4,126,309	59.3%	101.0%	40,467
2 国庫支出金	1,868,017	1,841,231	26.5%	98.6%	26,786
3 都支出金	467,004	488,065	7.0%	104.5%	21,061
4 繰入金	495,762	465,762	6.7%	93.9%	30,000
5 繰越金	144	144	0.0%	100.0%	0
6 諸収入	29,980	31,829	0.5%	106.2%	1,849
歳入合計	6,946,749	6,953,340	100.0%	100.1%	6,591

〔歳出〕 (単位:千円)

予算科目	予算現額	支出済額		執行率	翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比			
1 医療諸費	6,917,867	6,849,170	99.6%	99.0%		68,697
2 公債費	132	0	0.0%	0.0%		132
3 諸支出金	27,810	27,809	0.4%	99.9%		1
4 予備費	940	0	0.0%	0.0%		940
歳出合計	6,946,749	6,876,979	100.0%	99.0%	0	69,770

表15 介護保険特別会計歳入・歳出決算総括表

〔歳入〕 (単位:千円)

予算科目	予算現額	収入済額		収入率	予算現額と収入済額との比較
		金額	構成比		
1 保険料	670,592	671,034	14.3%	100.1%	442
2 国庫支出金	1,031,361	1,036,160	22.1%	100.5%	4,799
3 支払基金交付金	1,391,973	1,394,431	29.8%	100.2%	2,458
4 都支出金	543,741	540,489	11.5%	99.4%	3,252
5 財産収入	100	36	0.0%	36.0%	64
6 繰入金	851,975	851,975	18.2%	100.0%	0
7 繰越金	67,898	67,897	1.5%	100.0%	1
8 諸収入	24	30	0.0%	125.0%	6
9 市債	121,216	121,216	2.6%	100.0%	0
歳入合計	4,678,880	4,683,268	100.0%	100.1%	4,388

〔歳出〕 (単位:千円)

予算科目	予算現額	支出済額		執行率	翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比			
1 総務費	230,023	219,892	4.8%	95.6%		10,131
2 保険給付費	4,368,916	4,327,435	93.5%	99.1%		41,481
3 財政安定化基金拠出金	3,527	3,527	0.1%	100.0%		0
4 保健福祉事業費	6,100	5,924	0.1%	97.1%		176
5 基金積立金	8,323	8,258	0.2%	99.2%		65
6 公債費	80	0	0.0%	0.0%		80
7 諸支出金	60,911	60,898	1.3%	99.9%		13
8 予備費	1,000	0	0.0%	0.0%		1,000
歳出合計	4,678,880	4,625,934	100.0%	98.9%	0	52,946

表16 下水道事業特別会計歳入・歳出決算総括表

〔歳入〕 (単位:千円)

予算科目	予算現額	収入済額		収入率	予算現額と収入済額との比較
		金額	構成比		
1 分担金及び負担金	60,329	59,988	1.7%	99.4%	341
2 使用料及び手数料	1,761,885	1,776,138	50.6%	100.8%	14,253
3 国庫支出金	312,000	312,000	8.9%	100.0%	0
4 都支出金	7,801	7,800	0.2%	100.0%	1
5 繰入金	665,000	665,000	18.9%	100.0%	0
6 繰越金	28,941	28,940	0.8%	100.0%	1
7 諸収入	664	663	0.0%	99.8%	1
8 市債	662,100	662,100	18.9%	100.0%	0
歳入合計	3,498,720	3,512,629	100.0%	100.4%	13,909

〔歳出〕 (単位:千円)

予算科目	予算現額	支出済額		執行率	翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比			
1 総務費	225,641	223,235	6.4%	98.9%		2,406
2 事業費	1,607,576	1,571,456	45.5%	97.8%		36,120
3 公債費	1,662,503	1,662,031	48.1%	99.9%		472
4 予備費	3,000	0	0.0%	0.0%		3,000
歳出合計	3,498,720	3,456,722	100.0%	98.8%	0	41,998

表17 中神土地区画整理事業特別会計歳入・歳出決算総括表

【歳入】

(単位:千円)

予算科目	予算現額	収入済額		収入率	予算現額と収入済額との比較
		金額	構成比		
1 使用料及び手数料	3,755	3,832	0.5%	102.1%	77
2 都支出金	100,010	82,220	11.7%	82.2%	17,790
3 繰入金	484,211	484,211	68.7%	100.0%	0
4 保留地処分金	35,000	0	0.0%	0.0%	35,000
5 繰越金	134,790	134,790	19.1%	100.0%	0
6 諸収入	2	0	0.0%	0.0%	2
歳入合計	757,768	705,053	100.0%	93.0%	52,715

【歳出】

(単位:千円)

予算科目	予算現額	支出済額		執行率	翌年度繰越額	不用額
		金額	構成比			
1 総務費	124,241	118,749	21.3%	95.6%		5,492
2 事業費	631,773	439,139	78.7%	69.5%		192,634
3 公債費	754	0	0.0%	0.0%		754
4 前年度繰上充用金	0	0	0.0%	0.0%		0
5 予備費	1,000	0	0.0%	0.0%		1,000
歳出合計	757,768	557,888	100.0%	73.6%	0	199,880